

第 43 回有害・医療廃棄物研究講演会

特別企画：「廃棄物の不適正処理対策」

会長講演「廃プラスチック問題とその対応 続編」 有害・医療廃棄物研究会 会長/株式会社廃棄物工学研究所 所長/岡山大学名誉教授 田中 勝
1. 世界で取り組む「循環型社会の構築」 2. 容器包装リサイクル法と循環型社会形成推進基本法 3. 都市ごみ中のプラごみの分別収集とリサイクルへの取り組み自治体 4. 3R イニシアティブについて、4. OECD の世界の「都市ごみ排出量とその処理」 5. 廃プラの分別収集とリサイクルの弊害 6. 生産者が出来るサーマルリサイクルへの誘導
基調講演「今後の廃棄物処理制度の検討に向けた中間取りまとめ」 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制担当参事官室 有害廃棄物処理推進調整官 切川 卓也 平成 29 年廃棄物処理法改正後、中央環境審議会循環型社会部会廃棄物制度小委員会において、「ヤード環境対策検討会」、「PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」、「災害廃棄物対策推進検討会」における技術的観点から行われた各課題の検討結果を踏まえ、今後の廃棄物処理制度の検討の方向性を取りまとめた。その内容について説明する。
一般講演「廃棄物情報の共有・伝達における『化学』の重要性」 神戸環境クリエート株式会社 研究室 早川 健一 廃棄物処理においては、対象廃棄物に関する適切な情報を、排出者から処理者へ伝えることが重要である。しかし、演者の経験では、この情報の共有・伝達は意外と難しい(うまくいっていない)。排出者が提供する情報と処理者が必要とする情報に、考え方のギャップがあると感じる。廃棄物処理は化学反応であるので、化学の観点で書かれた性状の情報が必要となる。産業廃棄物の焼却処理業者の立場から、「廃棄物処理に必要な情報とは」について説明する。
一般講演「医療関係機関等における感染性廃棄物の安全不十分な排出に至る機序」 株式会社日本シルバー 代表取締役/東京都産業資源循環協会 医療廃棄物委員会 委員 杉本 大輔 医療関係機関等より発生する感染性廃棄物は、未だ安全排出基準に満たない事象が多い。本講演では危険排出事象に至るメカニズムに関し、先般、廃棄物資源循環学会誌に発表された最新の科学的知見を基に解説を行う。また東京都産業資源循環協会 医療廃棄物委員会としての対応、併せて東京都医師会/東京都環境局を通じての医療関係機関等への啓発活動を紹介する。感染性廃棄物に係わる事故の未然防止、環境への負荷低減、ならびに不適切な排出に伴って医療関係機関等が負う可能性がある「排出事業者責任」のリスク低減を目的とした策を提言する。